

V I E W

No. 95

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

『安全最優先』が聞いて呆れる！

大阪交番検査車両所で「不安全な事象」が発生！！

10月25日、大阪交番検査車両所でA交（午前交検）の作業が遅れ、通常2本ある検修庫にP交（午後1本目）とE交（午後2本目）の電車が入った状態で午後の作業を開始するところ、9番線にE交の電車が入っていない状態で10番線に入っている電車のP交作業を開始し、P交作業を開始してからしばらくして交検作業をしているとなりの9番線にE交の電車を入線させるということがありました。

社員が検修科長に「危ないのではないか」「電車が2本とも入線するまで現場詰所で待機させるべきではないか」と尋ねたところ検修科長は「放送もかけていて1人の助役に笛を持たせて監視していたので安全は確保されていて問題はない」という対応でした。しかし1人の助役が16両をカバーできるわけではありません。ましてや作業が始まって社員はそこに気を取られているのです。触車事故の可能性もあります。

日頃から「加圧後のドアテストでデッキの中央付近で確認作業をする時にも安全帯を着用しろ」とか「車体傾斜テストの時は車両に近づくな」とまでいうのに、今回触車事故のおそれもあったのにこういった会社の対応はいかかなもののでしょうか？！2年前から『命を守るルール』を導入し社員に対して教育もしているのに、今回の事象は「レッドカード」ではないですか！

関西支社の幹部も大交両検修科長と同じように「安全は確保されており問題はない」と言うのでしょうか？！